

## 大学院教育の3つのポリシー

### 1. 大学院学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

#### （1）修士課程・博士前期課程

聖心女子大学大学院は、「一人一人の人間をかけがえのない存在として愛するキリストの聖心（みこころ）に学び、自ら求めた学業を修め、その成果をもって社会との関わりを深める」という建学の精神に基づき、女性に高度な学術研究への道を開き、次のような力を身につけた修了生を社会に送り出します。

- 1 専攻する学問分野に関する、広い視野に立つ精深な学識と研究倫理
- 2 専攻分野に関する研究能力または高度に専門的な職業等に必要能力
- 3 高度で柔軟な思考力、総合的で的確な判断力
- 4 独自性のある意見を持ち、それを発信する力
- 5 グローバル化が進む中、専門性に基づいて地域および国際社会に貢献することのできる力  
さらに、専攻ごとに具体的な「修了生像」を定めています。

2年以上在学し、所定の方法により30単位以上を修得し、かつ研究指導を受けて修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した場合は、修士の学位を授けます。

#### （2）博士後期課程

博士後期課程では、上記に加えて、次のような力を身につけた修了生を社会に送り出します。

- 1 専攻する学問分野に関する精深で豊かな学識と研究倫理
- 2 独創性ある研究者として自立して研究を行い得る研究能力または高度に専門的な業務を遂行し得る能力

3年以上在学し、所定の方法により10単位以上を修得し、かつ研究指導を受けて博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した場合は、博士の学位を授けます。

### 2. 大学院教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

#### （1）修士課程・博士前期課程

聖心女子大学大学院は、学位授与方針に基づき、次のような方針で教育課程を編成し実施します。

- 1 「聖心女子大学の理念」および「聖心女子大学大学院学則」に基づき、体系的、順次性を考慮し、標準修業年限以内に確実にかつ効果的に目的、目標を達成できるよう教育課程を編成します。
- 2 学問分野の研究蓄積を十分に踏まえたうえで、体系的で幅広い学識を培うコースワークと、研究活動の遂行をとおして研究能力を育成するリサーチワークとの順次性とバランスに配慮して教育課程を編成します。
- 3 2年次には、専攻で深めた研究活動の集大成として、全員が修士論文を提出します。専攻にふさわしいテーマを自ら設定し、先行研究を適切に踏まえて論文を作成します。特に、修士論文作成に向けた研究指導、論文作成指導の機会は十分に保証されます。

- 4 授業形態については、講義、演習、実習等の適切性とバランスに配慮して、十分な数の科目を開設し、全体として効果が上がるように教育課程を編成します。授業と研究活動をとおして「聖心女子大学の理念」および研究倫理への理解を深め、思考力、判断力を伸ばし、自発性、創造性を発揮することができるよう、特に配慮します。
- 5 幅広い学識と多角的な視点を身につけるため、他専攻の科目の履修を一定の範囲内で認め、他大学院との単位互換、委託聴講制度を活用することもできます。国際的な視野を養い、研究活動の活性化を図るために、外国の大学院への留学による履修を一定の範囲内で認めます。
- 6 各専攻の設置目的と特性とを生かし、専攻ごとにその「修了生像」の実現に向けて最新の研究状況を反映させて教育課程を編成します。

## (2) 博士後期課程

博士後期課程では、上記に加えて、次のような方針で教育課程を編成し実施します。

- 1 博士論文の作成を博士後期課程の研究活動の中心として重視し、専攻にふさわしく価値の高いテーマを自ら設定し、学界の研究水準を十分に踏まえつつ独創性のある論文を作成します。特に、論文作成に向けた研究指導、論文作成指導の機会を十分に保証します。
- 2 授業と研究活動をとおして「聖心女子大学の理念」および研究倫理への理解を深め、自発的精神と応用力を養い、研究者としての独創性を発揮し、自立して研究活動を行い得る研究能力を身につけることができるよう、特に配慮します。

## 3. 大学院学生受入れ方針 (アドミッション・ポリシー)

### (1) 修士課程・博士前期課程

聖心女子大学大学院は、「聖心女子大学の理念」に共感し、高度な学術研究への道を志す皆さんに入学していただきたいと願っています。

そのため、入学者の受入れにあたっては、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針に基づき、次のような点を特に大切にします。

- 1 探究心旺盛で社会の動きや人間の生き方に対して関心が深く、幅広く深い教養と柔軟な思考力、的確な判断力を持ち、豊かな人間性と高い倫理性を備えていること
- 2 専門分野に関して学士課程修了程度以上の十分な知識と能力を備え、研究の課題意識が、明確であり、計画性を持って有意義な研究を進めることが期待できること
- 3 修士課程・博士前期課程修了後は、大学院において培われた人格をもとに、研究能力と精深な学識、高度に専門的な職業に要する能力などをもって、社会に貢献することを目指していること

### (2) 博士後期課程

博士後期課程の入学者の受入れにあたっては、上記に加え、次のような点を特に大切にします。

- 1 探究心旺盛で洞察性に優れ、高度で柔軟な思考力を持ち、幅広く深い教養、信頼できる人格、高い倫理性を備えていること
- 2 専門分野に関して修士課程・博士前期課程修了程度以上の十分な学識と研究能力を備え、独自性のある明確な研究課題を持ち、研究計画に従って高度な研究能力を発揮し、独創的な研究を進めることが期待できること
- 3 博士後期課程修了後は、大学院において培われた人格をもとに、自立して研究活動を行い得る研究能力と精深な学識、高度に専門的な業務を遂行し得る能力などをもって、社会に貢献することを目指していること